

温々 ギャラリー案内 2025年7月～12月〈下半期〉

〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1856
TEL/FAX 048-686-3620 WEB cafe-nukunuku.com

7月1日(火)～7月13日(日) 工房集展	17回目になる今回は、5人の作家たちによるアート作品を紹介します。 植物のようなカッティングシートの作品や、愛らしい丸いキャンパス作品を展示販売します。 あわせてステンドグラスや木工製品、陶器もお楽しみください。
7月15日(火)～7月27日(日) 西郷匡史・難波立子 夏のガラス展	吹きガラスを中心に毎日使いたくなる器を制作しています。 透明なガラスのきらめき・色・模様で日々の暮らしを心地良くしませんか。
7月28日(月)～7月31日(木)	夏季休業
8月1日(金)～8月11日(月・祝) 仕草 手ぬぐいと袋物展	日本の風土でうまれた晒生地、植物染料を使って 手ぬぐい、袋物(あずま袋、サコッシュなど)をこしらえて持ってゆきます。 型染め(手ぬぐい)の新作もお楽しみに。
8月13日(水)～8月24日(日) 大庭明子 「IRON MAMA」	一昨年こちらでの個展直後に母が亡くなりました。97歳でした。 とても面白い人でしたので思い出だけで楽しくなります。今回はそんな母をテーマにした 新作を中心に木版画、水彩画、オブジェなどを展示します。
8月26日(火)～9月7日(日) 三温薫 佐藤幸穂 「うつわのかたち」	秋田県の上城目町で周辺の素材を用い、生活の中で使いやすい器作りを目指して います。そして作りたい器がたくさんあります。 少しずつですが形にたく奮闘中です。どうぞ手に取ってご覧ください。
9月9日(火)～9月21日(日) 松居久美 「日々、木」	木の器や道具が、普段着を纏うように、日々、使ったり、眺めたりしてもらえる物でありたいと 日々、木と向き合いながら、削ったり、繋いだり、組み立てたりしています。
9月23日(火・祝)～10月5日(日) しもゆきこ木版画展	温々のギャラリーで唯一毎年展示を重ねてきました。スタッフも知らなかった?! 当初の作品が是非観てみたい、という今回の企画。 継続してきたからこそ育ってきた作品たちの変化もお楽しみください。(担当者)
10月7日(火)～10月19日(日) 伊藤博敏 「堅物のモノログ」	寡黙な石たちの独り言は、悠久の時間を旅した者だけが知る物語。 そんな堅物たちの言葉を私なりの解釈で形にしてみました。 堅くて柔らかい石たちの佇まいをお楽しみください。
10月21日(火)～11月3日(月・祝) 吉田もも書展 「今日も あしたも あさっても」	毎日いそがしい きぜわしい でも わたしのそばには猫がいる“たま”の目が 私をいやしてくれる 今日1日が終わる あしたも あさっても あかるい日に 車いすの私
11月5日(水)～11月16日(日) 安田裕康 焼締陶展	3年前の春から、小さく深い田で稲作を初めた。無農薬栽培された藁を作品の模様 づけに使いたいのが動機だったが、今では純粋に稲作にどっぷりハマっている。 「半農半X」という生き方が提唱されて久しいが、私の場合「半農半陶」である。 しっくり心身に馴染み、とても心地よい。老も若きもひとり100坪田んぼ時代、来たる! 来ないか、、、
11月18日(火)～11月30日(日) 沖原紗耶・絢屋二人展 「植物で仕立てる暮らし」	竹を切り出し、カトラリーを作っています。竹の持つ独特の重みや感触を暮らしの中 で感じていただけることを願って、日々手を動かしています。(沖原紗耶) 茨城県の県北の里美で、原料のホウキモロコシを栽培し簪を仕立てています。 その他、草に関する手仕事。2012年民芸館展奨励賞受賞、以降入選(絢屋)
12月2日(火)～12月25日(木) 堀口尚子 solxsol 「ホリ ソル展」 ～もうひとつの小さな森～	冬の小さな森へ あなたに、わたしに 心ときめく おくりもの ホリナオの絵と編み物とワイヤーツリー… ソルバイソルの多肉植物やサボテンも沢山ご用意します。 この展示会だけのWSも! ゆったり美味しいお食事をぬくぬくとお過ごしください。 happy holiday☆
12月26日(金)～1月5日(月)	冬季休業